



### 「すきま」

それは「家守」と市民と一緒に使い方を考え、手を加えていく中で  
共に育んでいくことができる使われ方に余白のある空間

「すきま」は、住民にとって身近にある自らが手を加えられる小さな場所だ。  
住民は「すきま」に手を加えていく中で、そこを自分だけの居場所に変える

「すきま」は市民が、主体的にまちと関わり、

まちを使いこなしていくきっかけとなっていく

